

平成27年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(平成27年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	公益財団法人盛岡地域地場産業振興センター	所管課	商工課
所在地	〒020-0055 盛岡市繫字尾入野64-102		
電話番号	(019) 689-2201	設立年月日	昭和59年8月31日
代表者	理事長 谷藤 裕明 <input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 市OB	<input checked="" type="checkbox"/> 市現職 <input type="checkbox"/> その他
設立目的	盛岡地域の地場産業を振興するための事業を行い、地場産業の育成と強化を図り、公正かつ自由な経済活動の機会の確保と地域住民の生活の安定向上及び福祉の増進に寄与することを目的とする。		
主要事業	① 地場産業文化の理解と振興、事業者の能力育成と後継者確保及び地場産品の振興を図る事業 ② 業界団体等との連携、官公庁からの受託等により実施する地場産業の普及啓発に関する事業 ③ 施設の賃貸に関する事業 ④ 季節毎の催事実施により盛岡手づくり村への集客と地域住民との交流を図る事業 ⑤ 盛岡手づくり村内共用施設維持管理事業 ⑥ その他この法人の目的を達成するために必要な事業		

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無
<input checked="" type="checkbox"/> ある (アドレス http:// tezukurimura.com/)
<input type="checkbox"/> 作成中・作成計画あり (公開予定時期 平成 年 月) <input type="checkbox"/> 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容 <input checked="" type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 役員氏名 <input type="checkbox"/> その他()
ホームページ以外での情報提供の方法
岩手県商工労働部産業経済交流課、盛岡市情報公開室等での情報提供

3 職員構成

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計	
			うち市OB	うち市派遣			
役員	理事	0	0	0	15	15	
	監事	0	0	0	2	2	
	計	0	0	0	17	17	
職員	管理職	正職員	1	1	0	0	1
		臨時職員	0	—	—		
	一般職	正職員	4	0	0	0	14
		臨時職員	10	—	—		
	計	正職員	5	1	0	0	15
		臨時職員	10	—	—		
前年度と比較して職員数の増減		増 0	減 0	常勤職員の平均年齢	55.6	歳	
常勤職員の給与体系							
<input type="checkbox"/> 法人独自の給与体系 <input type="checkbox"/> 市の給与体系を準用 <input checked="" type="checkbox"/> その他(国家公務員俸給表を準用)							

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	27,370 千円	本市出資等額	10,555 千円	本市出資等割合	38.5 %															
主な出資等者	<table border="1"> <tr> <td>① 盛岡市</td> <td>(出資等割合</td> <td>38.5 %)</td> </tr> <tr> <td>② 岩手県</td> <td>(出資等割合</td> <td>27.4 %)</td> </tr> <tr> <td>③ 業界組合(昭和59年当時 24組合・団体)</td> <td>(出資等割合</td> <td>17.8 %)</td> </tr> <tr> <td>④ 関係町村(昭和59年当時 7町4村)</td> <td>(出資等割合</td> <td>9 %)</td> </tr> <tr> <td>⑤ 商工団体(昭和59年当時 12 商工会)</td> <td>(出資等割合</td> <td>7.3 %)</td> </tr> </table>					① 盛岡市	(出資等割合	38.5 %)	② 岩手県	(出資等割合	27.4 %)	③ 業界組合(昭和59年当時 24組合・団体)	(出資等割合	17.8 %)	④ 関係町村(昭和59年当時 7町4村)	(出資等割合	9 %)	⑤ 商工団体(昭和59年当時 12 商工会)	(出資等割合	7.3 %)
① 盛岡市						(出資等割合	38.5 %)													
② 岩手県						(出資等割合	27.4 %)													
③ 業界組合(昭和59年当時 24組合・団体)						(出資等割合	17.8 %)													
④ 関係町村(昭和59年当時 7町4村)						(出資等割合	9 %)													
⑤ 商工団体(昭和59年当時 12 商工会)	(出資等割合	7.3 %)																		
平成27年度における当市の財的関与の状況	補助金	45,000 千円	(収入全体の	26.0 %)																
	負担金・交付金	475 千円	(収入全体の	0.3 %)																
	委託料	27,379 千円	(収入全体の	15.8 %)																
	指定管理料	0 千円	(収入全体の	%)																
	貸付金	0 千円	(収入全体の	%)																
補助金内訳																				
① 平成27年度運営費補助金		(平成27年度予算額	45,000	千円)																
負担金・交付金内訳																				
① 地場産業対策事業負担金		(平成27年度予算額	475	千円)																
委託料内訳																				
① 平成27年度市有施設維持管理業務委託料		(平成27年度予算額	4,601	千円)																
② 新地場産品開発普及支援事業業務委託料		(平成27年度予算額	14,100	千円)																
③ 盛岡広域資源新市場開拓事業業務委託料		(平成27年度予算額	11,511	千円)																
④ 平成27年度盛岡特産品ブランド認証制度運営業務委		(平成27年度予算額	1,768	千円)																
指定管理料内訳																				
①		(平成27年度予算額		千円)																
②		(平成27年度予算額		千円)																
③		(平成27年度予算額		千円)																
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設	(利用料金制を採用している施設がある場合記入)																	
		利用料金収入(平成27年度予算額	390	千円																
		法人の収入全体の	0.2	%																

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	
-------	--

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		平成24年度	平成25年度	平成26年度
①展示即売室売上	円	計画	210,250,900	186,500,000	193,010,000
		実績	186,186,600	202,866,050	191,289,330
②体験学習売上	円	計画	29,000,000	31,100,000	24,250,000
		実績	28,274,700	25,283,300	22,065,800
③展示資料室入場料	円	計画	400,000	450,000	400,000
		実績	461,000	372,360	286,300
		計画			
		実績			

- ※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。
- 2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。
- 3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

※複数の会計を持つ法人は、合算して記載すること。

(単位:千円, %, 人)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
総収入	172,880	150,968	162,949
当期収入(A)	177,782	154,632	159,560
基本財産運用収入	7	6	6
会費収入(入会金収入を含む)	0	0	0
補助金等収入	52,300	45,000	45,000
うち市からの補助金等(B)	52,300	45,000	45,000
事業収入(C)	121,804	109,538	113,338
うち自主事業収入	97,149	94,056	97,490
うち市からの委託料(D)	24,655	15,482	15,848
うち市からの指定管理料(E)	0	0	0
繰入金収入	3,500	0	0
市からの借入金	0	0	0
その他の収入	171	88	1,216
前期繰越額	▲ 4,902	▲ 3,664	3,389
総支出	176,544	147,579	158,115
当期支出	176,544	147,579	158,115
人件費	63,127	55,613	59,560
事業費(人件費除く)	83,405	86,828	94,030
管理費(人件費除く)	24,628	3,098	2,988
資産取得支出	0	367	0
繰入金支出	3,500	0	0
その他の支出	1,884	1,673	1,537

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
収支の状況	当期収支差額	1,238	7,053	1,445
	次期繰越収支差額	▲ 3,664	3,389	4,834
正味財産の状況	経常収益(F)	174,281	154,632	159,560
	経常費用	183,292	159,779	162,602
	当期経常増減額	▲ 9,011	▲ 5,147	▲ 3,042
	経常外収益	0	0	0
	経常外損益	0	72	72
	当期経常外増減額	0	▲ 72	▲ 72
財産の状況	資産(G)	627,639	623,533	626,743
	うち固定資産	608,605	598,335	599,838
	うち流動資産(H)	19,034	25,198	26,905
	負債	20,206	21,319	27,644
	うち固定負債	2,801	1,201	9,242
	うち流動負債(I)	17,405	20,118	18,402
	正味財産(J)	607,432	602,213	599,099
	うち当期正味財産増減額	▲ 9,010	▲ 5,219	▲ 3,114
財務指標	流動比率(H/I)	109.3	125.2	146.2
	自己資本比率(J/G)	96.7	96.5	95.5
	職員一人当たり収益高(F/(K+ 当期収入に占める市補助金等の割合(B/A)	11,618.7	10,308.8	10,637.3
	事業収入に占める市委託料、指定管理料の割合((D+E)/C)	29.4	29.1	28.2
		20.2	14.1	13.9
組織の状況	常勤役員数(K)	0	0	0
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(L)	15	15	15
	うち常勤職員数	5	5	5
	うち本市OB	0	1	1
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	1	1	1
	常勤役員比率(常勤役員数/総役員数)			
	管理職員比率	6.7	6.7	6.7
職員新規採用数	0	0	0	
うち常勤職員数	0	0	0	
事業指標	① 総入場者数(人)	482,332	463,938	431,844
	② 展示即売室購買客数(人)	91,485	92,714	83,953
	③ 展示資料室入場者数(人)	5,225	4,718	3,111
	④ 手づくり教室体験者数(人)	23,019	20,431	17,040

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
本市の財政的関与等の状況	補助金額	52,300	45,000	45,000
	① 運営費補助金	45,000	45,000	45,000
	② 修繕費補助金	7,300	0	0
	負担金・交付金額	500	500	500
	① 地場産業対策事業負担金	500	500	500
	委託金額	24,655	15,482	15,848
	① 市有施設維持管理業務委託料	4,474	4,474	4,829
	② 盛岡ブランド事業業務委託料	1,768	1,768	1,768
	③ 盛岡元気フェア事業業務委託	8,388	9,240	0
	④ 盛岡地域産業観光振興支援事業業務委託料	10,025	0	0
	⑤ 新地場産品開発普及支援事業業務委託料	0	0	8,751
	⑥ 函館誘客観光プロモーションイベント出店業務委託料		0	500
	上記のうち再委託額	7,569	5,898	7,085
	上記業務の委託契約方法	随意契約(見積合せ)	随意契約(見積合せ)	随意契約(見積合せ)
	指定管理料	0	0	0
	①			
貸付金額	0	0	0	
損失補償額	0	0	0	
債務保証額	0	0	0	

平成26年度決算の概要

平成26年度は前年度と比較し、展示即売室売上が191,289千円(対前年94.3%)、体験学習売上が22,066千円(同87.3%)と厳しい状況であった。収支の状況については、当期収入のうち、主なものとして事業収入は展示即売室仕入商品売上の増(25年度31,360千円→26年度40,570千円と9,210千円の増)と即売室委託販売売上金額の減に伴う手数料収入減・体験学習事業の売上減による手数料収入の減等から、2,454千円の増。また委託事業にかかる委託料収入の増(1,015千円)や雑収益の対物賠償責任保険金1,209千円等により、当期収入の計は、4,928千円増の159,560千円であった。一方、当期支出は仕入額の増等による事業原価の増(4,273千円)、職員給与7.77%減額の終了による給料手当の対前年増、事業委託料収入の増に伴う人件費等委託事業費の増等から10,526千円増の計158,115千円であり、当期収支差額はプラス1,445千円であった。またこれに建物減価償却費等を加えた正味財産の状況は、経常収益159,560千円、経常費用と経常外損益を加えた162,674千円との差額である▲3,114千円が当期正味財産増減額であり、これに前年度末の正味財産である602,213千円に加えた599,099千円が当期末正味財産額である。

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

B	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, D:大いに改善を要する
(コメント) 減価償却費を除けば単年度黒字であり, 累積欠損金もなく, 財務状況は概ね良好である。	

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	平成25年度決算において黒字である。		○
2	平成26年度決算において黒字である。		○
3	累積欠損金がある。		○
4	平成26年度決算において減価償却前黒字である。	○	
5	事業計画どおりの償却前赤字である。	/	/
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。		○
7	累積欠損金があるが, 対自己資本比率は50%未満である。	/	/
8	累積欠損金があるが, 対自己資本比率は50%~100%である。	/	/
9	累積欠損金があるが, 対自己資本比率は100%超である。	/	/

※「累積欠損金」→「正味財産の部合計」